

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

起業家体験学習の収益を寄附

1月21日、東和中学校の2年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる「起業家体験学習」で設立した模擬会社で得た利益を町へ寄附されました。

起業家体験学習は、7年前から行われており、保護者や地域の方に事業計画を説明し、出資金を募る本格的なもので、2年生21人が4つの班に分かれて模擬会社を設立し、昨年11月18日に道の駅で、パンやスイーツなどの販売やゲームコーナーの運営をされました。

生徒の皆さんは、大島大橋の事故の中、多くの町民の方にご協力いただいたことを思い、町への寄附を決め、会社の収益から出資者への配当を除いた3万1363円を椎木町長へ手渡ししました。

椎木町長は、「皆さんの思いを町民の皆様方に還元できるように使わせていただきます。」と答えました。



▲東和中学校2年生を代表して、椎木町長に寄附金を届けた、(左から)山本未来さん、若村拓海さん、浅海美紅さん、行田凜さん

3万個のもちが舞う

1月20日、土居の日良居庁舎周辺で第13回まるかじりが開催され、町内外から約1万人(主催者発表)の人数で賑わいました。今回も「紅白餅合戦」と銘打って、過去最多の3万個の餅が4回に分けてまかれました。

会場内では、町内の飲食店などが軒を連ね、名物料理や特産品などの販売や、恒例の「みかん鍋」も振る舞われ、集まった人たちはあつあつの鍋をほお張っていました。

また、会場近くの体育館では、広島東洋カープの廣瀬純コーチによる少年野球教室も行われました。



▶盛大に行われた「紅白餅合戦」
▲盛況だった「みかん鍋」

文化財防火デー消防訓練

▶放水訓練の様子



1月25日、西屋代の日本ハワイ移民資料館で文化財防火デーの一環として、消防訓練が行われました。

訓練には、地域住民の方をはじめ、消防署員、消防団員の方約50人が参加し、火災被害を最小限に抑えるためのバケツリレーや初期消火訓練、消火ホースを中継しての放水訓練などが実施されました。

また、消防署員による、消火器の取り扱い方法の講習も行われました。